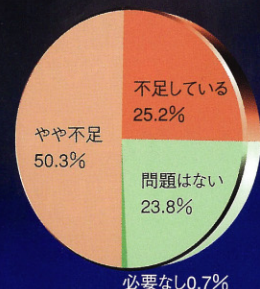


床下換気扇 かくはん型 排気型 IM-ARMSシリーズ

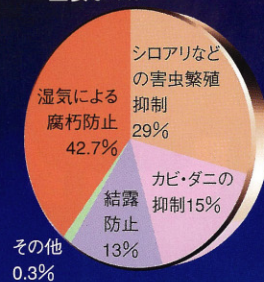
一級建築士アンケート ～「床下の換気対策はまだ不足。」～

約8割の建築士がその必要性を実感しています。左のグラフはある建築専門誌でおこなった「一級建築士を対象にした床下環境に関するアンケート」結果です。特にご注目いただきたいのが、約8割近い建築士が床下換気が不足あるいはやや不足していると答えていること。にもかかわらず床下環境改善製品が実際に採用された例は3割にも達しません。これらのことから、床下環境は今後おおいに改善の必要がある部分であると言えるでしょう。

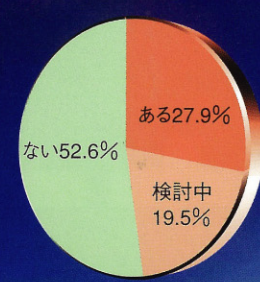
■戸建て住宅の一般的な床下換気について、換気や通風口が



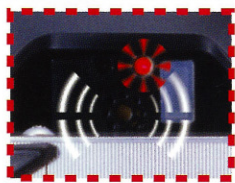
■床下環境改善において重要なのは



■床下環境改善製品を採用したことが



■ファン回転異常自己診断機能を搭載

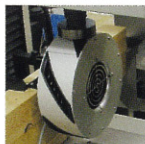


異常を検知すると直ちにブザーと赤ランプが点滅して、異常を知らせます。



正常運転時

■安全性を追求した取り付け方式 吊り下げ固定型設置方法を採用



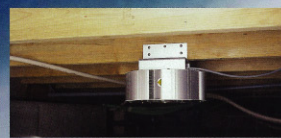
大引きネジで固定

床下換気システムの使用効果

新築時に床下換気システムを設置した建物と設置しなかった建物の床下を比べてみると、一目でその効果を確認することができます。
※ほぼ同様の設計の建物2棟を比較

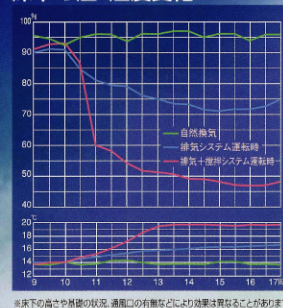


■換気システム未設置棟…土台や根太に湿気によるカビが発生しています。



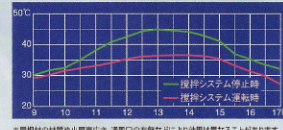
■換気システム設置棟……床下の構造材はほぼ新築時に近い状態です。

床下の温・湿度変化



※床下の高さや基礎の状況、通風口の有無などにより効果は異なることがあります。

天井裏の温度変化



※屋根材の材質や小屋裏広さ、通風口の有無などにより効果は異なることがあります。

快適に暮らせる家づくりは、床下・天井裏の環境改善から始まります。

IM-ARMSシリーズはこれらの問題を解決します。

[床下]

- ・カビ・結露
- ・ダニの発生
- ・シロアリ

[天井]

- ・夏の熱気
- ・冬の結露



小屋裏用かくはん型

強力な5方向送風により、天井裏の熱気滞留・結露防止に効果を発揮します。

床下用かくはん型

四隅や底部に停滞している湿気を効果的に攪拌し、床下内部の通風を格段に高めます。



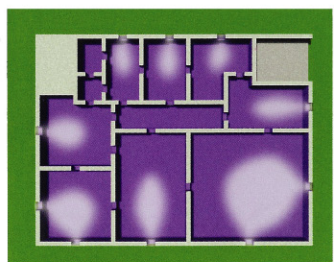
床下用排気型

床下の空気を強制排気して、外気を取り入れ床下に理想的な風の流れを作り出します。

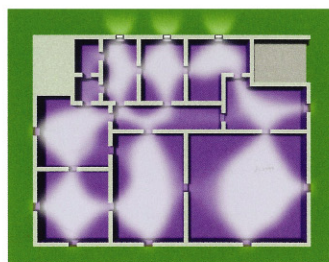
■床下の通風

シュミレーション

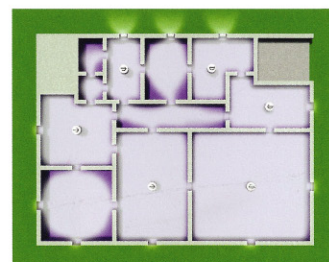
床下の通風方式により湿気の分布がどのように変化するか、シュミレーション下図です。かくはんプラス排気システムにより、短期間で現代建築のウィークポイントである見えない床下空間の環境を改善する事が出来ます。



■既存換気口による自然換気の場合
換気口付近の通気は図られていますが、床下の入り組んだ内部や四隅の空気は滞っており、床下は広範囲にわたり常に高湿度の状態(常時80~90%RH以上)におかれています。



■既存換気口に排気システムをプラスした場合
北側の水周りに設置された排気システムにより、床下内部の空気が強制排気され同時に外気が導入されます。しかし床下内部の空気の流れは直線的で、四隅に滞った湿気や床下底部のしつこい湿気は解消されません。



■既存換気口に排気+攪拌システムをプラスした場合
排気システムに内部設置型の攪拌システムを組み合わせるエコピオ独自のシステムなら、従来の方法では解消できなかった四隅や床下底部のしつこい湿気まで効果的に解消させることが可能です。